

皆様、奈良先端科学技術大学院大学 同窓会 会長の清川と申します。

本年度の学位記授与式にあたりまして、同窓会を代表して、一言ご挨拶を申し上げます。

本日、奈良先端科学技術大学院大学を修了される皆さん、大変おめでとうございます。ご両親、ご家族の皆様ならびに関係各位の皆様にも、心よりお祝い申し上げます。

これまでに、本学の修了生はのべ 12,000 名を超えます。多くの先輩方が国内外の大学、研究機関、企業、スタートアップなど様々な立場で活躍しており、奈良先端大のブランド価値を高め続けています。皆さんも社会に出た後に、本学で学んだことの意義や、本学との繋がりの大切さを実感する機会が必ずあることでしょう。その価値は、時を経るごとに深まっていくものです。

奈良先端科学技術大学院大学 同窓会では、修了生や在学生在を支援する様々な事業を展開しています。ぜひ本学同窓会に御入会いただき、この貴重なネットワークを活用していただければと思います。

さて、この1年を振り返りますと、国内外で実に様々なことがありました。

昨年のおおさか・くわいふくはくでは、世界中から多くの未来技術が披露されました。私自身もほんの少しだけ出展者として関わらせていただきました。会場で最先端の技術を体験する子どもたちの輝く眼を見て、科学技術が人々に希望と感動を届ける力を持っていることを改めて実感しました。私たちの未来は明るい、そう強く感じた瞬間でした。

その一方で、いま国際情勢は急激に緊迫化しています。世界各地で紛争や対立が続き、平凡で平和な日常が決して当たり前ではないことを痛感させられます。すべての国の人々に、平和で豊かな暮らしがもたらされることを心から願います。

平和で豊かな暮らしは、どうすれば実現できるのでしょうか。日々の暮らしの安全を守ること、病を癒すこと、生きることそのものへの不安を減らすこと。こうした営みは、立場や主張の違いを超えて、すべての人に共通する土台です。科学技術は、まさにその土台を築くために存在しています。皆さんが本学で取り組んできた研究の一つ一つが、その一端を担い得るのです。

皆さんは、慣れ親しんだ大学や高専などを飛び出して、新しいことにチャレンジしようという思いで奈良先端大の門をくぐりました。世界で活躍する先生方と熱い志をもった仲間たちに囲まれて、答えのない問いに向き合い、何度も壁にぶつかりながら、研究成果を生み出してきました。その過程で身につけた力と、ともに過ごした仲間との絆は、これからの皆さんを支える大きな財産になるはずです。

4月からは、それぞれが新たな場で新たな役割を担っていかれることでしょう。どうか本学で学んだことを糧に、ご自身の研究や仕事が社会にどのような良い影響を与えられるかを意識しながら歩んでください。当事者意識を持ち、変化を恐れず、目の前の課題に真摯に向き合う。その積み重ねが、より良い未来を築いていくのだと私は信じています。

社会へ巣立つ皆さん一人ひとりのこれからの活躍を、心から楽しみにしております。本学で得た学びと絆を大切に、それぞれの道で大いに力を発揮してください。

結びに、皆さんの前途が実り多きものであることを心より祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

本日は誠におめでとうございます。

令和8年3月24日

奈良先端科学技術大学院大学同窓会

会長 清川 清